

セセリチョウの一種(チョウ目, セセリチョウ亜科)の 塩分補給

Supply of salt by *Pelopidas* sp. (Lepidoptera, Hesperinae)

久保田 信

和歌山県白浜町に所在する瀬戸臨海実験所の通称“北浜”で、2011年5月と6月の3日間、南方系種のモンキアゲハ *Papilio helenus nicconicolens* Butler の3頭が、海水を吸水するのに遭遇した(久保田, 2011)。今回、和歌山県白浜町の瀬戸漁港で2011年8月31日7時に、台風12号の影響で高潮になって普段より水位の高くなった満潮線にセセリチョウ亜科の一種が1頭着地して、数秒間ずつ2回の吸水をした。その後、そっと近づいた筆者に気付き飛び去った。チョウから距離が離れていたのに種の確認ができず、吸水場面も撮影できなかったが、毎日のように10年余り瀬戸漁港で生物の定点観察を実施しているが、チョウ類がここで海水を吸うのに遭遇したのは今回が初めてなので報告する。

引用文献

久保田 信. 2011. モンキアゲハ(チョウ目, アゲハチョウ科)の塩分補給. KINOKUNI, (79): 15.

(くぼた しん 〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町 459 京都大学フィールド科学教育研究センター瀬戸臨海実験所)